

議会だより

白山市

2017.11

vol. 50

CONTENTS

50号
記念

②… 発行50号記念特集～これまでの軌跡～

- ④… 8月会議の概要
- ⑦… 一般質問
- ⑩… 常任委員会レポート
- ⑪… 行政視察報告
- ⑫… 市民の声



さかしなちも か
作者／坂下桃夏さん

議会だよりが

平成 17 年 6 月議会の内容を掲載した創刊号を同年 8 月に発刊し、今回が 50 号の記念紙となりました。

全てをご紹介することはできませんが、これまでの歩みと主な内容を振り返ります。

1 号



7 号



9 号



平成17年 8 月

- ・ 35 人の議員で市議会がスタート
- ・ 市議会だよりを創刊



平成19年 2 月

- ・ 子どもの権利に関する条例が可決、同年 4 月から施行
- ・ 表紙がリニューアル



平成19年 8 月

- ・ 3 月に発生した能登半島地震災害の復興支援を求める意見書を提出
- ・ 白嶺小中学校の建設が着工、平成 20 年 7 月の完成を目指す

45 号



平成28年 8 月

- ・ グループ形式での意見交換を金城大学の学生と実施
- ・ 近畿市町村広報紙コンクールで 2 年連続して優秀賞を受賞

41 号



平成27年 8 月

- ・ 河内小学校の耐震化事業を認める
- ・ 近畿市町村広報紙コンクールで優秀賞を初受賞

40 号



平成27年 5 月

- ・ 議会だよりを全面リニューアル
- ・ 新たに設置した予算常任委員会、新年度予算を審議

50号を迎えました

これからも分かりやすい
手に取って読んでいただける議会だよりを
目指します

ホームページで
見ることができますよ

16号



25号



28号



平成21年5月

- ・28人の議員で市議会の2期目がスタート
- ・表紙の写真にタイトルを掲載



平成23年8月

- ・東日本大震災の被災地・被災者への義援金を送る、人道支援として市職員を派遣
- ・近畿市町村広報紙コンクールで優良賞を初受賞



平成24年5月

- ・議会改革の一環として、議員定数28人から7人を削減、次回選挙から21人に

34号



平成25年11月

- ・初めての議会報告会を美川地域で開催
- ・表紙の写真を広報広聴委員が撮影することに

32号



平成25年5月

- ・議員定数削減後、初めての選挙が執行され、21人での議会がスタート
- ・保育所の民営化計画に基づき、法人保育園が18保育園に

29号



平成24年8月

- ・議会改革の一環として、議会改革フォーラムを開催
- ・近畿市町村広報紙コンクールで2年続けて優良賞を受賞



22 億 4 千万円の補正予算を審議

主なやりとり



議員

金沢専門職大学創設補助の年間 6000 万円（5 年間で 3 億円）は分かった。しかし決して小さな金額ではない。厳しい財源の中で、福祉や教育の分野を削らないように。

限られた財源の中でいかに効率よく行うか、当然予算を組む全体の中で検討していく。これによって福祉予算が削られることはないようにしたい。



市



議員

道の駅管理運営事業で、早く周知するために、道の駅のパフレットを早めに作れないか。

完成した施設の写真も入れる必要があるので、年明けになると考えている。できるだけ早く印刷し、いろいろな場所に配布して周知していきたい。



市



議員

獅子吼高原の水源地は土砂崩れで行けない状況と聞いているが、今後の復旧は。

獅子吼高原の水源地につながる作業道が崩落した影響で現在取水できない。管理している県と協議をしており、緊急工事の手続きを行っている。当面、給水車により、水を運ぶことで対応したい。山頂には仮設トイレの設置も行っている。



市



議員

8 月 25 日の大雨で、白山公園線を県土木が通行止めにしたのを知らずに、白山登山に向かう車で渋滞した。市と県との連携はどうなっているのか。

県土木のファックスによる通行止め情報の見落としがあった。今回の状況がこれまでの想定したものを超えており、県土木と今後の連絡体制、現場での周知方法を検討した。今後このようなことがないように対応していきたい。



市



議員

台風 5 号の関係で多くの避難所を開設したが、市民サービスセンターの職員と 2 名の本庁職員では足りなかったのではないか。この対応でよかったか検討してほしい。

今回は河内、吉野谷、鳥越などで災害対応に当たった。配置した 2 名の本庁職員で足りたのか、もう少し検証し、今後の対策を考えていきたい。



市



議員

平成28年度の地域振興公社の総収入が増えているが、指定管理物件が増えたためなのか、特定の施設での収入が増えたのか。

収入が大きく増えたのは、南竜山荘の宿泊等が増えたため。



地域振興公社



議員

スキー場整備計画策定事業で、一里野温泉スキー場は初級者向けのゲレンデに整備すべき。よく検討してほしい。

初・中級者向けにコースの距離感を感じるように整備したい。初級者に十分対応できるゲレンデを考えていく。



市

国の 関係機関へ 提出



意見書

全国森林環境税の創設を求める意見書

(提出者・吉本史宏)

道路整備に係る補助率等のかさ上げ措置の継続を求める意見書

(提出者・南 清人)

教職員の時間外労働の上限規制を求める意見書

(提出者・寺越和洋)

核兵器禁止条約への参加を求める意見書

(提出者・山口俊哉)

免税軽油制度の継続を求める意見書

(提出者・村本一則)

私は

賛成・反対しました

○＝賛成　×＝反対　－＝欠席	氏名	池元	中野	大屋	田代	山口	安美	吉本	永井	南	石地	安田	北嶋	村本	宮岸	岡本	寺越	吉田	清水	藤田	西川
◎会派名 一創＝一創会 白政＝白政会 創誠＝創誠会		勝	進	潤一	敬子	俊哉	隆直	史宏	徹史	清人	宜一	竹司	章光	一則	美苗	克行	和洋	郁夫	芳文	政樹	寿夫
		会派名	一創	一創	白政			白政	白政	白政	白政	一創	創誠	創誠	白政		創誠	創誠			一創
平成28年度一般会計歳入歳出決算の認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	－	○
平成28年度白山市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○
平成28年度白山市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	－	○
平成28年度白山市工業団地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○
平成29年度白山市一般会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	－	○
平成29年度白山市介護保険特別会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○
平成29年度白山市工業団地造成事業特別会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○
道の駅めぐみ白山の指定管理者の指定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○
所得税法第56条廃止の意見書採択についての請願書		×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	－	×
「全国森林環境税」の創設を求める意見書		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	－	○

* この他にも22件の議案がありました。

* 議長（小川義昭）は採決に加わりません。

平成28年度12会計決算を認定

決算審査の主なやりとり



議員

交通安全推進費の高齢者安全教室について、高齢者の事故が多いので、高齢者向けの教室以外の機会を捉えて、事故防止に努めてほしい。

白山警察署と連携して高齢者の集まる場に出向いて、講習や啓発活動に努めていきたい。



市



議員

地籍調査事業についての進捗状況は。国から計画などは示されていないのか。

市全体での進捗率は15%で、国も早く進めたいとの思いがある。国には毎年3000万円程度の補助を申請しているが、実際はその7割程度が交付されている。毎年交付が受けられるよう要望している。



市



議員

参議院議員通常選挙で、予算では一般財源を予定していなかったが、決算では一般財源を使っているのはなぜか。

今回は350万円余りの自動読み取り機を購入したことから150万円余が一般財源となった。



市



議員

保育業務支援システム導入に関して、法人保育園に補助金を出しているが、保育士業務が少しでも楽になるのであれば、公立保育所にも導入してはどうか。

導入したばかりで、皆さん四苦八苦している状況。今後きちんと検証していきたい。



市



議員

多世代健康づくり事業で食育キッチンカーを購入しての実績と効果は。

昨年600万円かけて購入した。今まで15回程度出動して、保育所での食育やマルシェ・ドウ・ハクサンなどでのにぎわい創出に活動している。今後も、食育や食材の提供など計画している。



市

一般質問

議員が市の一般事業に対して、執行の状況または将来の方針、政策的な提言などを行います。一問一答形式による質問時間は、1議員30分以内です。

8月会議の一般質問は、9月7日(木)、8日(金)の2日間にわたり行われました。



7日の質問議員

宮岸 美苗 議員	7 ページ
吉本 史宏 議員	7 ページ
安実 隆直 議員	8 ページ
山口 俊哉 議員	8 ページ
池元 勝 議員	8 ページ
大屋 潤一 議員	8 ページ



8日の質問議員

清水 芳文 議員	9 ページ
中野 進 議員	9 ページ
田代 敬子 議員	9 ページ
村本 一則 議員	9 ページ

一般質問コーナーの掲載記事は、質問議員本人からの寄稿によるものです。

市ホームページで議会録画映像の配信や、「会議録の検索」により、一般質問など本会議の詳しい内容もご覧になることができます。



<http://www.city.hakusan.ishikawa.jp/>



宮岸美苗 議員

Q 保育所（園）の看護師未配置の解消を

A 配置の必要性は認識しているが応募者がいない

質問 看護師未配置の保育所（園）への配置を進めるとともに、人材確保のための助成が必要では。

答え 看護師が配置されているのは26カ所、未配置が7カ所ある。看護師配置の必要性は認識しているが、応募者がいない状況が続いている。看護師は園児のけがや病気の対応、健康管理など専門性を生かした保育業務を担っており、体調不良児保育の特別保育事業が実施できるので各園も努力している。市としても国の補助制度の下、3分の1の補助をしている。

他の質問 核兵器禁止条約、ブックスタート、総合支援事業、地下水の保全と利用など



吉本史宏 議員

Q 協働のまちづくりの推進は

A 新たな地域コミュニティ組織をつくる必要がある

質問 協働のまちづくりに取り組む新たな組織や人材の育成、行政としての支援は。

答え 新たな組織については、各種団体が連携し、地域全体が相互に補完することにより、地域の課題解決や活動の発展、一体性の確保につながる組織の構築を検討。同時に、新たな財政支援制度の創設に向けて、市民の皆様や各種団体の方々に協力と理解を求めながら、既存の補助金の整理や見直しを行い、地域の主体性が一層発揮される仕組みを構築していきたい。

他の質問 白山手取川ジオパーク、中心市街地のにぎわいづくり、公共施設等の愛称など



安実隆直 議員

Q 共生のまちづくり条例施行による農福連携の支援策は

A 市内JAと障害者就業施設の協力で検討を進めている

質問 農業の働き手がいけないという問題と福祉の働く場所がないという問題を解決し、補完する農福連携には大きな可能性がある。本市の考えと今後の支援策は。

答え 農福連携は障害のある人の職域や収入の拡大を図る上で有効な手段であり、連携方法については、農家から農作業などを受託する方法、また、自主的に農作業に取り組む方法、さらには施設外で農作業を行う方法、施設内で農産物の加工を行う方法などがある。今後はそれぞれの状況に応じた支援策を検討したい。

他の質問 道の駅の管理運営と地域振興施設、相続未登記農地の対処、農業委員会の強化



山口俊哉 議員

Q 市営スキー場の新たな計画は

A 一里野スキー場ではコースとリフトの新設を計画

質問 市営スキー場の新たな計画は。人工造雪機や人工スノーマットの導入を。

答え 今後8年間の整備計画を検討している。一里野スキー場は、中ノ原・のだら第1リフトが老朽化しており、リフトとコースの再編が急務。初級から中級者をターゲットとしたコースの新設を計画し、その設計に係る経費を補正予算に計上した。セイモアスキー場は今後とも充実したスキー場を運営していくための整備を検討していく。人工造雪機等は今後の検討課題。

他の質問 中小企業振興計画、子育て世代包括支援センター、教職員の時間外労働など



池元 勝 議員

Q 子どもわくわくランドの進捗状況は

A 財政的な問題から当面の整備は難しい

質問 子どもの屋内遊戯施設について、市長の公約にもあった子どもわくわくランドに組み込んで考えればよいと思うが、実現に向けての進捗状況は。

答え 子どもたちの身近なところに遊び、学ぶ施設があれば、健全育成に大変有用であると考えている。保育所の改築や放課後児童クラブの整備を優先的に実施していくので、財政的な問題から整備は難しい。今後とも、子どもたちが地域で安心して遊べるよう、公園の遊具や児童館などの整備を進めていくこととする。

他の質問 産学官金民連携、安心・安全のまちづくり



大屋潤一 議員

Q 立地適正化計画の取り組みは

A 本年度より策定業務をスタートさせている

質問 本計画の進捗状況および決定時期は。また、地域拠点設ける考えは。

答え 今年度より都市計画マスタープランの改定作業を開始したが、これにあわせて立地適正化計画の策定業務をスタートさせ、平成31年度末までに終えることとしている。地域拠点については、白山市の成り立ちを考えると、松任・美川・鶴来の既存の中心市街地を地域拠点と捉えることを前提に検討を進めていきたい。

他の質問 水道事業の民営化、平等寺川の改修、一の宮地区の観光振興策



清水 芳文 議員

Q 障害者の雇用実態と就労定着に向けた支援策は

A 雇用促進のPR活動や個別相談など支援を継続する

質 問 白山市や市内の事業所での障害者雇用の実態と法定雇用率達成の状況、今後の法定雇用率アップに対応する取り組みは。また、障害者の就労定着が難しい中、きめ細かな支援策が必要では。

答 え ハローワーク白山管内では、平成28年度の障害者雇用は231人で充足率22%、法定雇用率達成は134社中74社で55%。社会福祉法人やNPOに相談支援事業を委託し、個別相談や個別支援を行っている。引き続き障害者の自立支援を継続したい。

他の質問 紙おむつ助成制度の拡充、プレミアムシニアパスポート事業の創設など



中野 進 議員

Q 空き家改修の補助金制度を白山市民も対象としては

A 市内在住者の転出抑制の観点から前向きに検討したい

質 問 空き家バンク制度における、空き家改修の補助金の対象が市外からの転入者となっているが、空き家利用促進の一環として、白山市民も対象としてはどうか。

答 え 少子高齢化の時代にあり、市内在住者の転出抑制も重要な観点であり、補助対象の範囲の拡大については前向きに検討したい。

他の質問 白山検定、白山市アプリ、首都圏での情報の収集と発信活動



田代 敬子 議員

Q 女性防災士の増員の必要性は

A 一人でも多くの女性防災士の資格取得と育成に努める

質 問 女性の視点を防災に生かすため、女性防災士の対象を女子生徒・女子学生にも広げよ。

答 え 現在女性防災士は61名であり、今年度の申し込みは12名、うち学生は2名いる。避難所運営には女性や女子学生の柔軟な発想や視点が欠かせない。今後も女性防災士の資格取得と育成に努めていきたい。

他の質問 いじめ相談やDV相談にSNSを活用せよ、フードバンクの立ち上げをなど



村本 一則 議員

Q MICS事業、し尿処理施設新築比較の優位性は

A MICS事業が建設費、国の補助金とも有利である

質 問 汚水処理施設共同事業（MICS事業）基本設計費に4680万円計上されているが、どのような事業か。し尿処理施設新築との優位性は。

答 え 白山市の汚水処理施設の汚泥やし尿処理施設の異なった処理方法を共同施設として整備し、一体的に処理を行うもので、建設費でMICS事業では4億1千万円削減でき、国庫補助金もし尿処理施設建設は3分の1、MICS事業は2分の1とMICS事業のほうが有利である。

他の質問 下水道事業、松任中央処理浄化センター、中学校通級指導教室など

常任委員会レポート

総務企画 まちの安全と景観を守る

主な質問

★空き家対策

質問 非常に危ない空き家で所有者が撤去できない場合、市はどのように対応するのか。

答え 空家対策特別措置法に基づいて特定空家等の認定をし、法的措置を進め、最終的には行政代執行になる場合もある。

質問 屋根が抜けて屋根雪下ろしできない家が、地震で通行人側に倒れたら大変なことになるので早めの対策を。

答え 所有者と4年、5年も協議を重ね非常に力を入れて進めている。法的措置を進めできるだけ早く危険な状態を解消したい。



倒壊の恐れがある空き家

文教福祉 子どもの夜間急病診療所の移転

主な質問

★「(仮称)金沢広域急病センター」開設に向けた関連スケジュール

質問 日中に急病が出た場合でも今までどおりで、夜間だけの開設か。

答え 現行では夜間になる。日中は各小児科医の通常の診療の中での対応となり、診療時間が終わった段階で急病が発生した場合に利用することになる。医師会では、休日当番医制を廃止して、終日センター化できないか協議している。

★平成29年度全国学力・学習状況調査結果

質問 「将来の夢や目標を持っている」と答えた児童生徒の割合を伸ばす努力は。

答え 校長会議等を通して各職員へ力を入れるように伝えている。まだまだ少ないと認識しているので、今後とも努力していかなければならない。



子どもの夜間急病診療所が入る
金沢市駅西福祉健康センター

産業建設 地産地消の推進に向けて

主な質問

★地産地消簡単レシピの募集

質問 入選レシピを学校給食で採用しているとのことだが、その後の状況は。コンビニでの展開などはおもしろい取り組みだと思うがどうか。

答え 学校給食では平成29年2月に昨年度の入賞作品「キノコたっぷりポカポカ鍋」と「みそきりたんぽ鍋」を提供した。また、コンビニでの展開については今後の検討課題にしたい。

★道の駅「めぐみ白山」付近の渋滞対策

質問 国道8号と県道の交差点付近に道の駅が立地するが、今後想定される交通状況についての考えは。

答え 8号の本線部の改良工事を行っている。小松方面からの右折レーンと金沢方面からの左折レーンを延長している。県道についても右折レーンを延長する改良工事を行っている。



学校給食で提供された入賞作品

視察報告

総務企画常任委員会 7月10日～12日

熊本県熊本市 災害における避難対策の強化

熊本地震での避難者数は想定の2倍の11万人で、車中泊や野宿をするなど想定外の状態でした。地域防災計画を抜本的に見直し、避難対策の強化に重点を置いています。また、全地区に防災連絡会を立ち上げて訓練を推進し、避難所機能を強化した環境整備を進めており、避難対策の参考になりました。



熊本地震について視察

福岡県小郡市 市民協働のまちづくり

地域、行政、市民活動団体などと全ての小学校区にまちづくり協議会を設置し、防災や青少年育成、健康福祉など地域の実情に応じた部会が活動しています。例としては、自治会バス部会は、市が無償で貸与する車両を地域のボランティアが運転し、住民のニーズに基づいたルートで運行した結果、地域福祉の面で効果を発揮しており、協働のまちづくりの参考になりました。

●JR九州では、沿線自治体と連携した地域振興について視察しました。

文教福祉常任委員会 7月18日～20日

三重県名張市 地域福祉教育総合支援システム

地域で住民主体に活動し、「まちの保健室」や「名張版ネウボラ」などの取り組みを行っています。その強化のために、ワンストップ窓口に対応する「エリアディレクター」の配置、地域の課題を検討する「エリア会議」など、地域協働の包括的支援制度は参考になりました。



名張市の地域福祉教育総合支援システムを視察

三重県多気郡多気町 高校生レストラン『まごの店』

「まごの店」は相可高校食物調理クラブの研修施設としてできたレストランです。このほか、地元の食品・製菓会社と共同で商品をプロデュースするなど、地域社会へ若者の参画や地元企業とのタイアップは、高等学校との連携による地方活性化対策として参考になりました。

●愛知県岡崎市では、スポーツ施設配置整備方針について視察しました。

産業建設常任委員会 7月19日～21日

秋田県横手市 食と農からのまちづくり事業・道の駅「十文字」

食と農からのまちづくり事業は、食育活動や食文化の継承、ブランド化、農業所得の向上を図るための事業を展開していました。また、道の駅「十文字」は平成19年にオープンし、来客数は減少しているものの売り上げは年々伸びています。外販事業の収益が伸びていることが要因であるとのことで、農業振興施策や市産品の販路拡大の手掛かりとして参考になりました。

新潟県新潟市 鉄道のまちづくり

新津鉄道資料館を平成26年にリニューアルし、交流人口の拡大や鉄道文化を継承する人づくりを図るなど、「鉄道の街 につ」のイメージづくりと地域協働を進めているとのことで、白山総合車両所等の産業と地域の観光資源を活用した取り組みに対する手掛かりとして参考になりました。



新津鉄道資料館を視察

●山形県鶴岡市では、ユネスコ食文化創造都市について視察しました。

市民の声

「市議会に期待すること」をテーマにご意見をいただきました。



健康センター松任のプールの活用を

西柏町 いしは 石田 さとこ 得子さん



介護認定を受ける人の原因の30%は、骨折や筋骨格系の分野といわれるが、股関節や膝・足に痛みや障害を持ち、日々を過ごしている人も多い。

健康センター松任のプールは水中リハビリを目的に、スロープや手すり、床が平坦で障害を持つ人に安心な温水プールです。

ウォーキングができない人の介護予防・健康づくりの場として健康センター松任のプールの充実、そして活用を期待します。

木質燃料の普及拡大を

乾町 おさだ 長田 あきお 昭夫さん

災害時や催し物で使う熱源にロケットストーブがあります。構造は簡単で耐火・断熱性に優れ、機器は安価で電気は要らなく取り扱いも容易です。湯沸し、煮炊き、暖房、足湯などに使えます。燃料は間伐・伐採材、建築廃材、木質ペレット、製材・木工廃材などの多岐にわたり地産地消に貢献します。

市では木質バイオマス燃料対象のペレット・薪ストーブの助成制度はありますが、さらにロケットストーブや薪ボイラー普及拡大の施策に期待します。



基盤の確立と魅力ある白山市の創出へ

竹松町 まつざい 末代 みちあか 道孝さん



新幹線の開通、延伸により若年層の流失が懸念される中、いかに当市を魅力的、かつ、活性化につなげるかを考えます。

先ごろ、地方創生の観点から大学の立地規制緩和の報道がありました。今こそ産学官が一体となり、協働を軸とした学校、企業の誘致を図り、人的にはUターン学生の支援策として、地元「官・民」へのインターンシップの働きかけを期待します。

短視眼とならず、世の流れに先んじ、県内No.2のイメージ払拭のためにも、さらに上を目指す若者の獲得につなげていただきたい。



議会傍聴を
お待ちしております

本会議当日、市役所7階で受け付けていますのでお気軽にお越しください

12月会議の予定

12月 4日 (月) 10:00～	提案説明
12月11日 (月) 10:00～	一般質問
12月12日 (火) 10:00～	一般質問
12月21日 (木) 15:00～	表 決

広報広聴委員会

委員長：山口 俊哉 副委員長：池元 勝
委 員：中野 進、大屋 潤一、石地 宜一、村本 一則

針金や糊、熱も使わない製本技術「エコプレスバインディング」を採用しています。

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

